

林道 Close 前に行っとく✓北ア・蝶ヶ岳 😊 🎵

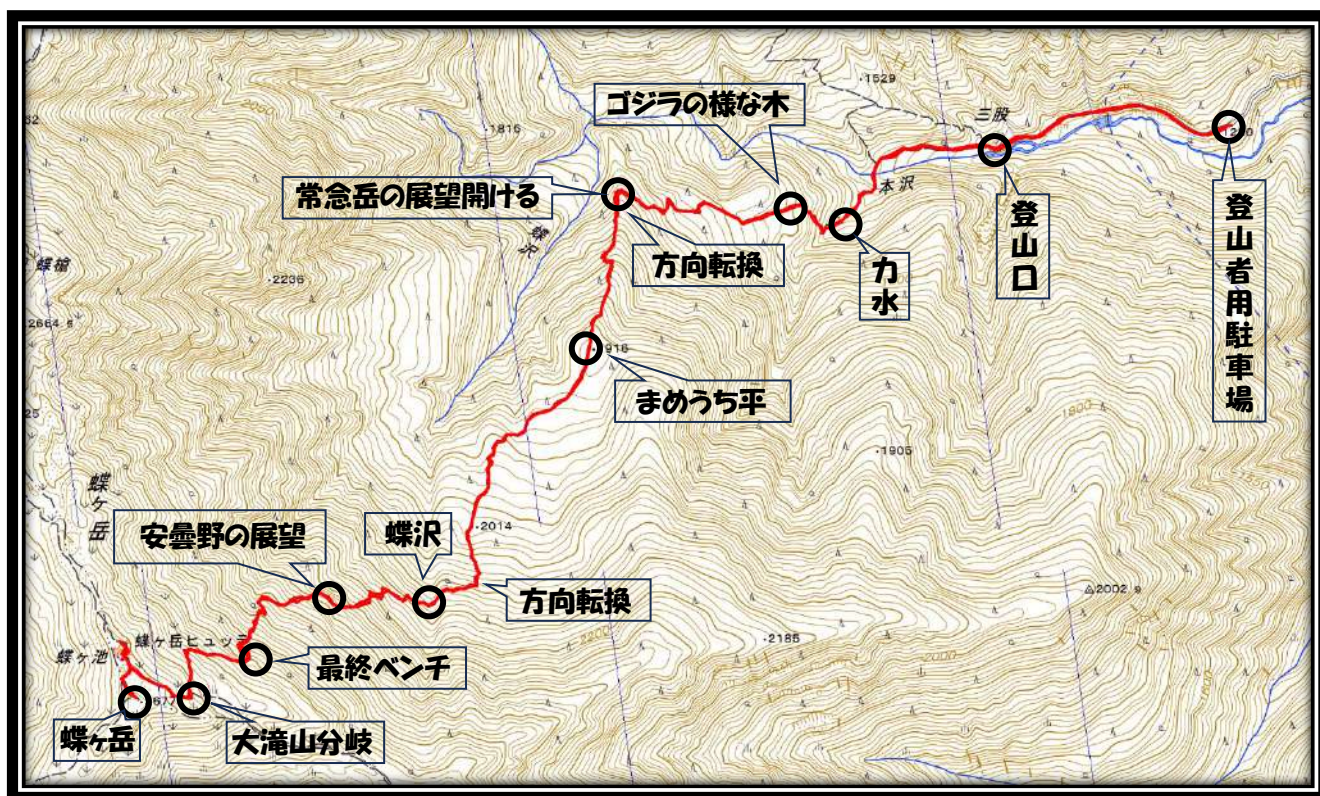
個人山行報告 松井

- ・山 域・山名 長野県・安曇野市
- ・日 程 2025.11.23(日) 日帰り (晴れ) ・参加者：松井
- ・コース実績

富士宮 3:00→富沢 IC→安曇野 IC→三股登山者用駐車場 6:10/6:20 出発→三股登山口
6:39→力水 7:00→ゴジラのような木 7:08→まめうち平 8:08~8:16(アイゼン取付)
→蝶沢 9:02→最終ベンチ 10:37→大滝山分岐 11:05→蝶ヶ岳 11:17~11:57→大滝
山分岐 12:02→最終ベンチ 12:11→蝶沢 13:01→まめうち平 13:40~13:50(アイゼ
ン取外)→ゴジラ 14:35→力水 14:42→登山口 15:00→登山者用駐車場 15:12→し
ゃくなげの湯→安曇野 IC→富沢 IC→富士宮 20:00

三股登山口までの(烏川)林道が 11 月 28 日に閉鎖されるのでその前に行っとこと最後の
日曜日 23 日に行って来た。

安曇野インターを降り豊科大天井線を西に向って進む。ホリデーゆホテルの先からまだ日
の出前の林道を烏川に沿ってさらに西へ向かう。前後に車は見当たらない。もしかして今
日は一人…!?. 斜面から染み出した湧き水の凍結に神経を使いながら 6 時過ぎに駐車場に
着くと、なんとほぼ満車じゃないですか!! まだ日の出前ですけど。皆さん早々に出発して
いて人の姿はまばら。支度して出発。久しぶりの冬靴で砂利道はなんとなくしっくりこな
いがぼちぼちと登山口に到着。今日のコースはほぼ夏道の一本道だ。



登山口から 20 分ほどで「力水」に到着。ここまでは吊り橋を渡ったり、沢沿いのゆった

りとした登り。力水から先、突然現れる急な木段。登るとすぐに「ゴジラの様な木」がいつもの顔で立っていた。進路が西向から南向きに 90 度方向転換するポイントの正面に「常念岳」の展望が開ける。常念岳の積雪は少なく樹木のみが目立っていた。木段が断続的に続く急な尾根道を登り上げると「まめうち平」に到着した。ここまでの積雪は数センチ程度でツボ足で登って来れた。ここから先は全面積雪で急な登りになるのでアイゼンを装着。暫く緩い樹林帯歩きの後、再び西に 90 度方向転換。ここから深い雪の急登が始まった。

蝶沢は深いトレースが出来ていて落雪の心配はなさそうだ。その先で安曇野市街の展望が広がり一息入れる。夏の最終ベンチまでは木段混じりの急登が続いた。ベンチは雪に埋もれ見えなかったが。大滝山分岐で展望が開け、そこから一登りで蝶ヶ岳に到着した。目の前に広がる槍・穂の大展望に暫し足が止まった。ヒュッテ周辺は先行した登山者で大賑わいだった。槍・穂の稜線、表銀座の稜線の展望を楽しみ下山を開始した。

まめうち平まではアイゼンで下ったが、木段のステップ幅が狭くアイゼンを引っ掛けない様気が抜けず大変だった。チェーンスパイク派が多数を占めていたのが印象的だった。



【明るくなり始めた駐車場は車で一杯だったが空いたスペースに滑り込み。最後の日曜日とあって考える事は皆同じか。】



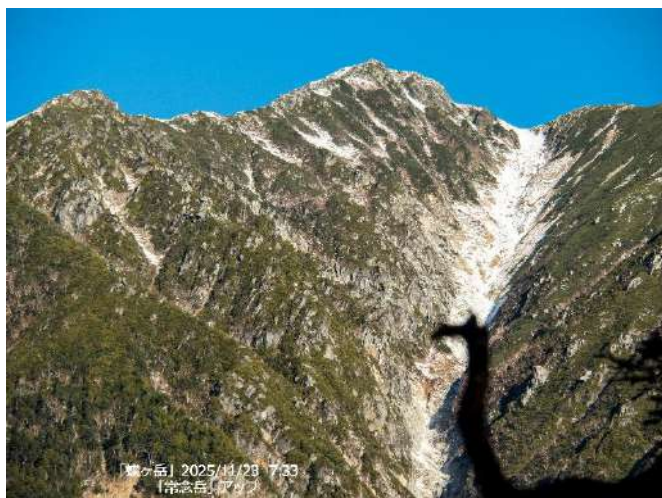
【20 分ほどで登山口に到着。ここまで冬靴での砂利道歩きはしばらくぶりですっきりこない。】



【更に 20 分ほどで「力水」に到着。水はタツプリと出ていた。まだ周辺が凍結するまでには至っていなかった。】



【「力水」の先、急な木段を上がって振り向くと何時もの「ゴジラの様な木」。この木いつまで元気であるのだろうか？】



【方向転換ポイントで常念岳の展望が開ける。】



【まめうち平から積雪、アイゼン装着。】



【蝶沢は雪に埋もれ深いトレースが出来ていた。】



【蝶沢の先で「安曇野」の展望が開ける。】



【夏道の「最後のベンチ」付近。雪は
タツプリでもトレースもバッチリ。助か
ります。
ここからは蝶ヶ岳の稜線や安曇野の
展望が開ける。
「四阿山」、「浅間山」の存在感が
大きい。】





【大滝山分岐で展望が開け常念岳の展望が広がる。】



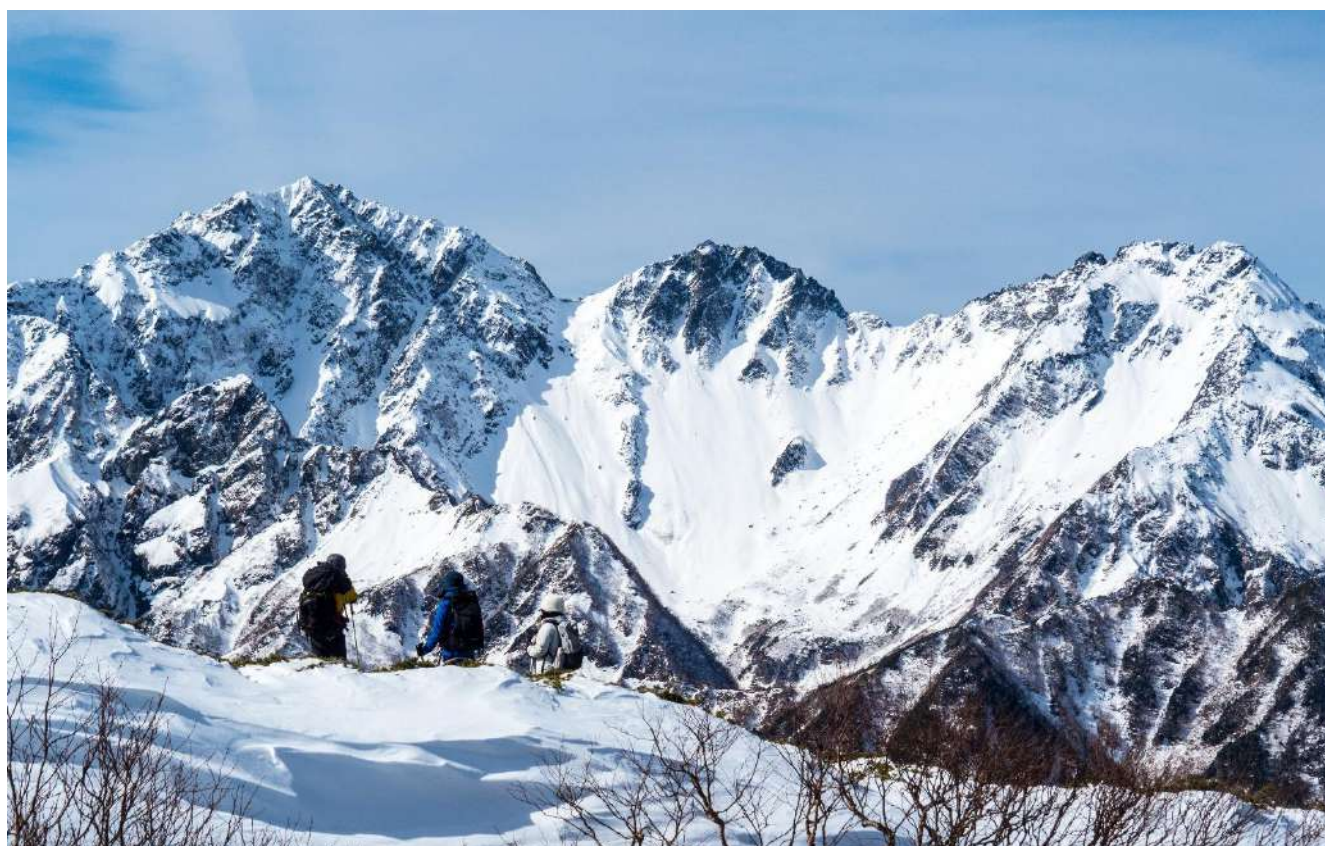
【大滝山分岐から山頂稜線へ向かうトレース。】



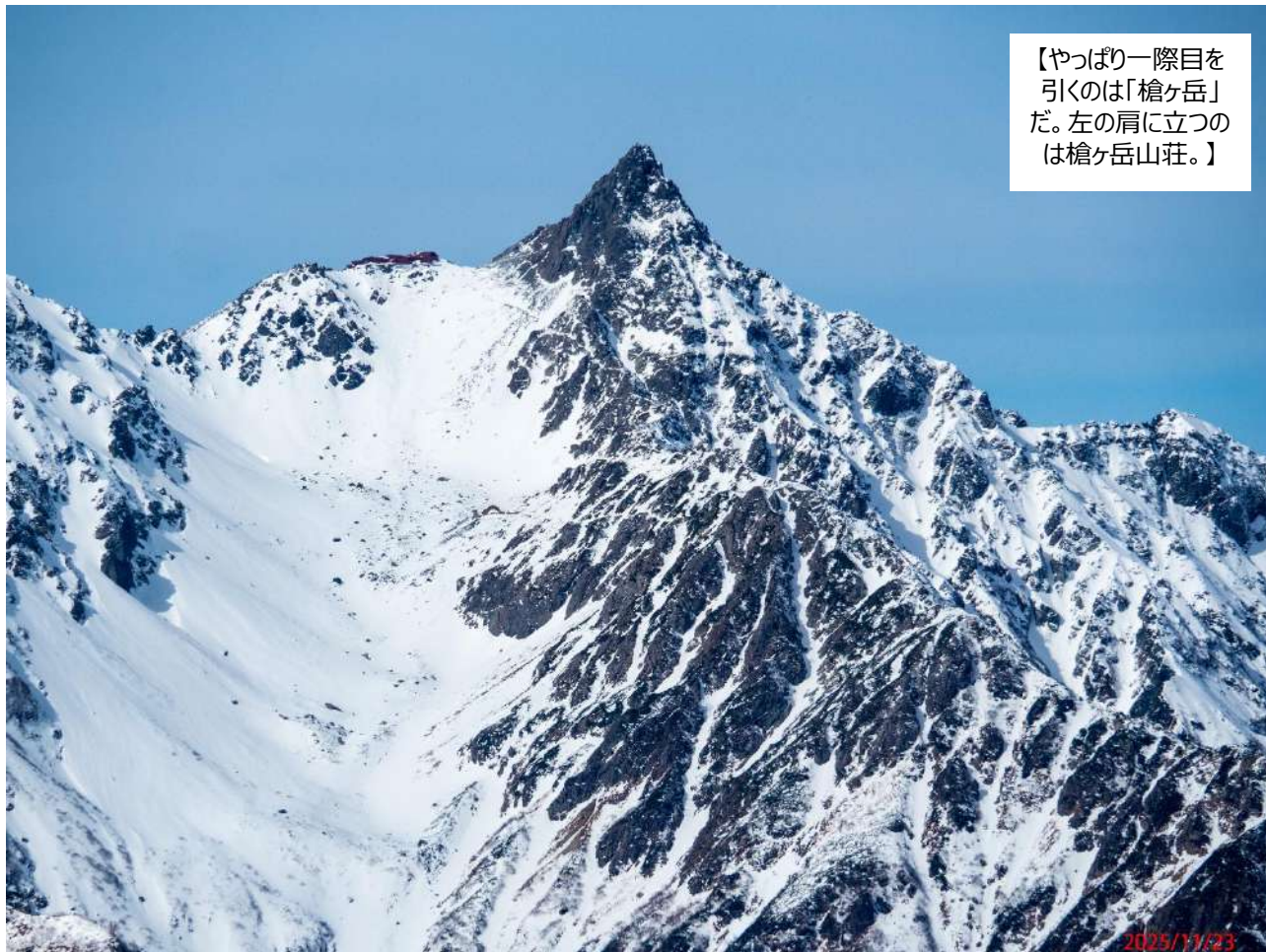
【稜線に出て真っ先に目に飛び込んでくる北アの絶景。】



【常念岳から大天井に続く表銀座の稜線。】



【奥穂高岳～涸沢岳～北穂高岳の荒々しい稜線。】



【やっぱり一際目を
引くのは「槍ヶ岳」
だ。左の肩に立つの
は槍ヶ岳山荘。】

2025/11/23



【北穂高岳と雪に
埋もれてしまいそ
うな北穂山荘】

北穂山荘

「蝶ヶ岳」 2025/11/23 11:24
北穂高岳と山荘